

# 出羽の三森



## 活力祭閉祭式 講評より (抜粋)

雨天により、閉祭式は体育館で行いました

グラウンド一杯に響く子どもたちの歓声や躍動する姿には、活力祭が33回の歴史を重ねても、学校が56年目の歩みの中でも、これまでと少しも変わらない、これからの未来を切り拓く力強いエネルギーと可能性を感じます。

私は、2学期始業式でみなさんに、「互いの個性を認め合い、個性を生かし、仲間と共に1つのものを創り上げる。そんな行事を通して一人一人が自分を伸ばして行ってほしい」というお願いをしました。

本日の活力祭には、一人一人が、周りの人たちに巡らす思いと競技・応援に向かう姿勢とが化学反応を起こして、最後は笑顔になれる、まさに、みなさんの「繋がり」に、活力祭スローガンを具現化した姿、一中生の魂があったように感じます。

みんなで、何かを求めたり、何かに挑んだりして、目をきらきらさせて、やりとげよう、なしとげようとする姿は凜としていてかっこいいのです。

「一生懸命ってかっこいい」のです。

みんなでこのことを確認し、今日という日が、これからの充実した生活につながる素敵な一日になったことを確信して、講評といたします。



令和4年度合唱祭スローガン

# 最響祭

## ～最強で最高の合唱祭～



11月11日（金）、やまぎん県民ホールを会場に合唱祭を行いました。生徒は、初めて山形市内に現地集合することとなりましたが、大きなトラブルもなく、電車やバス等で無事にたどり着くことができました。

合唱祭では、それぞれの学年や学級で、令和4年度の合唱祭スローガンを目標に、実行委員やパートリーダーが中心となって練習に励んできた成果を発表し合いました。

また、吹奏楽部の演奏や「一中の達人」でのドラム演奏、ダンス、ピアノ連弾で会場を沸かせてくれました。

さらに、会場入り口には、まいづる学級が取り組んだ「紅花プロジェクト」の作品を展示し、みなさんから鑑賞していただきました。

当日は、たくさんの保護者の方々にも足を運んでいただき、ありがとうございました。



# おめでとう!!

## 宮城浩蔵賞 O. Rさん



宮城浩蔵賞 受賞スピーチより（抜粋）

私が、宮城浩蔵さんの人生で特に印象に残っているのは、あの時代に若くして東京游学、フランス留学を決意して、勉学に励んだ場面です。私には今、そのような決断力も行動力もあるとはいえません。だから、同じ若者として、自分から行動していたことに感銘を受けました。さらに、私は、夢を叶えるためには、必死に勉強するだけでなく、自分の意思を持って、決断して、行動することが大切だと感じました。

私には夢があります。それは、ものをデザインして、創り出す仕事に就くことです。デザインといっても、AIのようにコンピュータのソフトウェア的なものなのか、人間工学に基づいた家具のようなものなのか、テレビや家電のようなものなのか、まだ、はっきりとしていなく、自分でも漠然としています。だから、様々なことに目を向けて、一生懸命勉強したり、いろいろな活動に興味を持って取り組んだりして、自分の幅を広げたいです。また、ものづくりには、どんなものであっても、人々の役に立つように創ることが大切だと思います。

宮城浩蔵さんが、新しい時代や生活には何が必要かを考えて行動していたように、私も考えて行動する力をつけて、人々の役に立つものを創りたいです。

今回の受賞で、このように考える機会を与えていただき、ありがとうございました。





# 生徒会役員決定!

10月27日(木)の生徒会役員選挙立会演説会、そして、投票を経て、新しい生徒会役員が決定し、11月24日(木)に認証式を行いました。

これまで、生徒会目標『繋ぐ～誰もが互いを思い合える心地のよい学校～』を掲げ、3年生が中心となって取り組んできた令和4年度生徒会活動が、2年生へと引き継がれました。

3年生は、一人一人のことを大切に、互いを思いやるようにするためにはどうすればいいのかを考え、行事を通して実践したり、一中トークで話し合ったりしてくれました。

今後は、新生徒会が、会長を中心にどんなテーマを掲げて、みんなで決めたことをみんなでやり切る実践に取り組んでいくのか、大変楽しみです。保護者のみなさま、地域のみなさま、これからも応援をよろしくお願いします。

会 長	S. M
副 会 長	K. S
副 会 長	S. N
応 援 団 長	I. J
生活委員長	Y. K
学芸委員長	H. K
整美委員長	S. T
保健委員長	H. M
体育委員長	M. S
図書委員長	Y. S
給食委員長	I. S
広報委員長	I. K
事務局 長	K. A
議 長	M. M
議 長	W. S
事務局員	Y. S
事務局員	W. M
事務局員	I. R
事務局員	S. N
事務局員	S. A
事務局員	T. H
事務局員	S. M

# ボランティア活動の取組

## 赤い羽根募金



10月24日(月)～28日(金)に赤い羽根募金活動を行いました。ボランティアの生徒が、朝、昇降口に立ち、募金を呼びかけました。

総額22,185円を集めることができました。

ご協力いただき、ありがとうございました



## 人権の花 花植え

10月27日(木)に人権擁護委員のみなさまから花の苗をご寄付いただき、それを一緒に植える作業を行いました。学校にはたくさんの花が飾られ、和やかな気持ちになりました。

人権擁護委員のみなさま、ありがとうございました



## コロナ第8波に備えて

ここ数日、コロナ第8波が心配される状況になっています。本校でも、陽性者や濃厚接触者、風邪症状等の生徒が増加している傾向にあります。

これまでの市内の感染拡大をみると、熱や咳、体調不良等の症状があっても登校したことが、感染を広げる要因となったと考えられます。

どこでも感染する可能性がある現状ですので、体調不良等があるときには、早めの受診や休養等の対応をお願いするとともに、健康観察や手洗い、うがい等の感染対策を各自でしっかりと行うことが大切です。

3年生は進路実現に向けて大切な時期を迎えます。コロナやインフルエンザ等を流行させないことも、3年生への応援のひとつです。

# 令和4年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要について

今年度も「全国学力・学習状況調査」が、4月19日（火）に全国全ての小学校6年生と中学校3年生の児童生徒を対象に一斉に実施されました。今年度の「教科に関する調査」は、国語・数学に加え理科がありました。また、「質問紙調査」は、学習意欲や学習方法、学習環境等の状況について調査するものです。本校3年生の結果とその概要についてお知らせします。

## 1 教科に関する調査における平均正答率（％）

	国 語	数 学	理 科
本 校	本校は県平均，全国平均を上回る結果でした	本校は県平均，全国平均を上回る結果でした	本校は県平均，全国平均を上回る結果でした
全 国	69.0	51.4	49.3
山 形 県	70	52	50

## 2 質問紙調査で主な望ましい回答や県・全国より比較的高い項目

生活について

- ・難しいことでも失敗を恐れないで挑戦している
- ・人が困っているときは進んで助けている
- ・地域の行事に参加している
- ・地域や社会をよくするために何をすべきかを考えるときがある

学習について

- ・国語、数学、理科の勉強について大切だと思っている
- ・家で、自分で計画を立てて勉強している
- ・平日1時間以上、土日2時間以上学習している
- ・新聞を読んでいる
- ・授業でタブレットを使用している

## 3 質問紙調査で主な望ましくない回答や県・全国より比較的低い項目

- ・先生はよいところを認めてくれている

## 4 考 察

ほとんどの質問項目について、全国平均や県平均と比較して、望ましい回答の割合が高い状況にありました。特に学習面については、意識の高さとその実践、結果が伴っていることが分かります。

一方で、先生はよいところを認めてくれているということについては、そう感じていない生徒の割合が比較的高かったことは、今年度、学校を運営していく中でも大きな課題の1つであったと思います。

日頃から、生徒のよいところを見つけることに心がけてきたり、普段の学校生活や学校行事、面談等の中で、生徒の声に耳を傾ける機会を設けたりしましたが、まだまだ十分とは言えないと考えています。

今後とも、このことについては、念頭に入れて指導に活かしてまいります。